

[様式2 (汚染水処理対策委員会に報告し、一般公開となるものです)]

御提案書	
技術分野	(2) (「技術提案募集の内容」の該当番号を記載願います)
御提案件名	カリウム散布によるトリチウムの除染
御提案者	柳原 隆司
<p>1. 技術等の概要 (特徴、仕様、性能、保有者など)</p> <p>トリチウムを除染するための一提案を行わせていただきます。</p> <p>まず、トリチウム $T(^3H)$ がリチウム Li と結合し水中に入った $T Li$ は、H_2O によって解離し、T と Li になる。Li はイオンのまま存続し、T は H_2O を解離し、TH (H_2) に変化する。したがって、TH と OH が水中に貯まる。この TH を除去する方法は、まず汚染水中にカリウム K を散布し、TH と結合させる。このとき、この結合した K から -5 から -7 eV の負電荷が発生する。さらに、この K には 3 個の H_2O も同時に結合する。このうち 2 個の H_2O が、他の H_2O の H を解離吸着する。そして、H_3O に変化する。この K の化合物は地殻物質 Na_2O や Na_2O_2 の結晶表面に強く結合する。除染水をこれらの表面上に接近させると、TH と結合した K の化合物は、Na と結合する。なお、Li は結晶内部に進入し、Na と強く結合する。Na_2O や Na_2O_2 の結晶を取り出せば除染できる。Na_2O や Na_2O_2 を取り込んだゼオライトを、K の化合物吸着に使用する場合は、Ca のないゼオライトを使用すべきである。それは Ca から大きい、約 -6 eV の負電荷が発生し K 化合物の大きい負電荷と反発するからである。</p>	
<p>2. 備考 (以下の点など、可能な範囲で御記入いただけますようお願いします)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開発・実用化の状況 (国内外の現場や他産業での実績例、実用化見込み時期を含む) <p>なし</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開発・実用化に向けた課題・留意点 <p>実証実験が必要です</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その他 (特許等を保有している場合の参考情報等) <p>なし</p>	